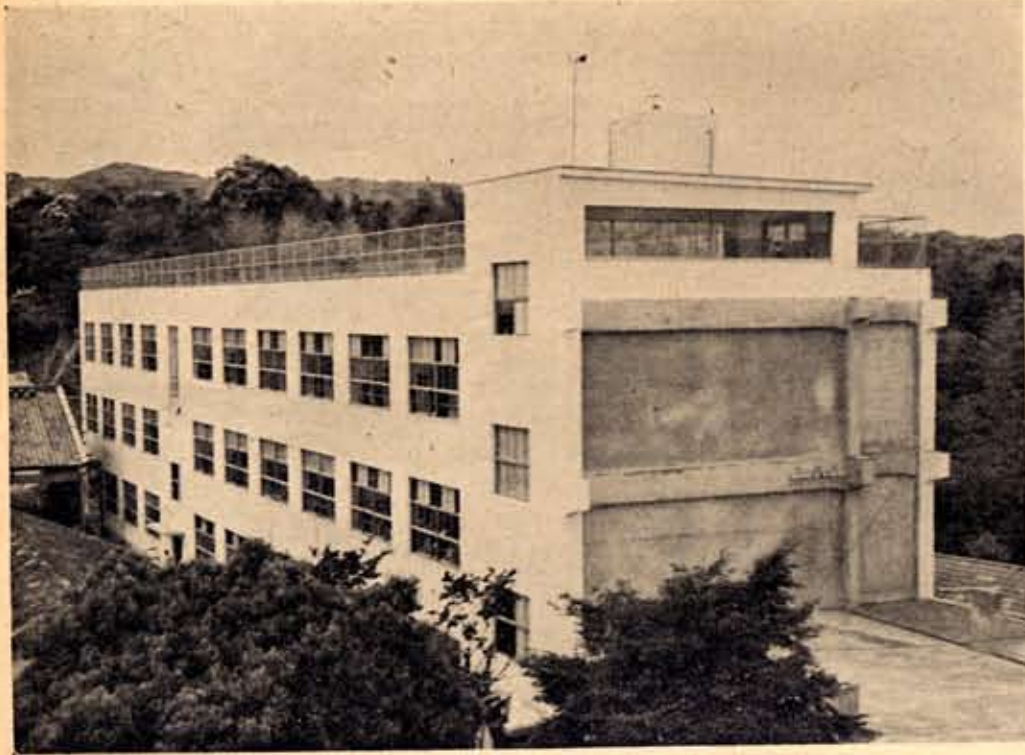


待望の鉄筋校舎竣工する

3階建の15教室



郡内初の近代校舎

総工事費は三〇、四九五、九五〇円

向陽小学校約一、五〇〇名の児童が、指折かぞえて待っていた白亜の鉄筋校舎が四月末に完成し、五月十八日午前十時より講堂で竣工式が行われた。

向陽小学校は年々増加する児童の竣工は、五月十八日午前十時のため教室の不足、明治末期に建てられた老朽校舎、これらの問題を解決するため工事を急いでいた鉄筋校舎（面積十五教室）は、四月三十日に完成した。この校舎

築を議決、関係官庁の承認を経て、十月十六日に七業者を集めて競入札に付した。その結果株式会社安井工務店に落札。十月二十七日に地盤調査を行い、町田設計事務所設計監督による工事に着手、建築委員会並びに町議会議員の現場行動と、一般町民各々の支援により、工事は極めて順調に進行し、今年四月末に近代的な校舎が竣工した。



発行所
京都府乙訓郡向日町大字向日小字南山三
電話向日町18-218番
編集 向日町役場総務課

町の人口	
34年4月末現在	
男	5,643人
女	5,906人
計	11,549人
世帯数	2,615
◇	
物集女	793人
寺戸本	5,047人
森本	842人
鷲冠井	1,164人
西向日	1,003人
上植野	1,521人
向日	1,179人

工事概要

構造	鉄筋コンクリート三階建	延1,926平方メートル(582.62坪)
教室数	15教室	
一階	梁間10.5m 桁行72m	(756平方メートル)
二階	梁間10.5m 桁行54m	(567平方メートル)
三階	梁間10.5m 桁行54m	(567平方メートル)
屋上塔屋	梁間8m 桁行4.5m	(36平方メートル)
設計管理	町田設計事務所	
工事施行	株式会社 安井工務店	
工期	昭和33年10月27日着工 昭和34年1月30日竣工	
工費	主体工事費	28,500,000円
	電気給水工事費	1,200,000円
	ガス工事費	326,300円
	昇降口追加工事費	350,650円
	昇降口扉追加工事費	119,000円
総工事費	30,495,950円	

沿軍の概要
明治五年学制の実施により、同年十一月十六日、現在の地に駒山校舎開設した。当時は尙無教師一名で寺小屋程度のものであったが翌六年には筆道・算道の二教師を得て生徒数は男子二〇名、女子三名となり、漸く小学校としての体制を整えた。

明治十一年九月第二区向日町校舎と改称、同十二年第二区向日町校舎と改称、同十八年に校舎を新築し、明治十八年に更に教室・職員室を増築、物集女分校を合併して翌十九年に向日陽小学校と改称した。

明治四十二年再度の学制改革により、義務教育が六年に延長され向日陽小学校、北校舎六教室（今回の改築により解体、更に講堂舎の中央位にそれぞれ雨天体操場を設け合計三十四坪が完成した）。

明治四十三年には、二階建一九八坪の本館が落成し、児童七〇〇名を収容する充実した施設を完成させた。

大正四年運動場が六七〇坪拡張され、同八年特別教室校舎（今回の改築により一部解体）が増築、講堂兼公会堂を新築、従来の旧講堂を撤去した。

昭和二十七年には、二〇八坪の校舎を新築、更に運動場三、二〇〇坪を拡張、同年四月には、本館が改築されたが、終戦直後陸軍の指示により、取りこぼされた。

昭和二十四年学校給食の実施に伴い、炊事場三、二〇〇坪、十五名児童数の増加により、更に二階建校舎六教室一七〇坪を増築した。

写真が防火シャッター、消火栓もある廊下

されたが、当時の国勢と、逐年増加する児童数のため、普通教室に改める等設備、その他教育の点においても誇り得る充実した内容をなすに至った。

向日陽小学校児童数			
(五月一日現在)			
	男	女	計
1年	88	107	195
2年	98	101	199
3年	123	103	226
4年	159	121	280
5年	162	136	298
6年	146	141	287
計	776	709	1,485



6月2日は参議院議員通常選挙の投票日

よく見・よく聞き・よく選べ

投票時間
午前7時から
午後6時まで

